

# 長崎原爆資料館 平和の尊さ

大分県本部  
大分市職員労働組合  
自治研 青年部部会  
足達 俊哉・佐藤 裕輝

# 目次

1. 原爆投下の経緯と被害

2. 原爆資料館の訪問と感想

## 1. 原爆投下の経緯と被害

# 原爆投下に至るまでの歴史

- \* 1937年に日本が中国に侵攻し、太平洋地域での第二次世界大戦が勃発。
- \* 1939年にドイツがポーランドに侵攻し、ヨーロッパにおける第二次世界大戦が勃発。
- \* アメリカとの対立から太平洋戦争が始まった。
- \* その後、長崎・広島に原爆が投下され、日本は降伏することになった。



## 1. 原爆投下の経緯と被害

# 日本の動きについて

- \* 満州事変に始まり、日本は東南アジアに侵攻し、東南アジアに大きな影響を与えた。
- \* 大東亜共栄圏を構築しようとした。
- \* アメリカとの対立

## 1. 原爆投下の経緯と被害

# 太平洋戦争

- \* アメリカとの対立が激化し、太平洋戦争が勃発
- \* 太平洋戦争の中で、長崎・広島の二カ所に原爆を投下される



1945年9月2日、正式に降伏

## 1. 原爆投下の経緯と被害

# 長崎の復興へのあゆみ

### 復興の軌跡

原爆を投下された浦上地区は、70年草木も生えないだろうと言われていたが、復興を実現した。

平和公園の造成(1951年～1955年)

⇒平和公園は、1951年に建造が始り、1955年に開園しており、長崎の平和を象徴している。

平和祈念像(1955年)

⇒平和公園内に建立され、原爆犠牲者の冥福と恒久平和を願う像とされている。

8月9日は長崎の人々にとって、平和を祈る日であり、平和学習を行う日にもなっている。

## 2. 原爆資料館の訪問と感想

# 青年部自治研ツアー

### 2025青年部自治研ツアー

と き: 2025年6月7日・8日

ところ: 長崎県長崎市

### 【訪れた場所】

- ①長崎原爆資料館
- ②平和祈念像
- ③原子爆弾落下中心地

## 2. 原爆資料館の訪問と感想

# ① 長崎原爆資料館 No.1

- \* 原爆資料館に訪問し、被爆した際の品物や写真などを閲覧した。
- \* さまざまな資料が残っており、実際に見ることは良い経験であった。
- \* 原爆という兵器は多くの被害をもたらしたのだと感じた。



## 2. 原爆資料館の訪問と感想

# ①長崎原爆資料館 No.2

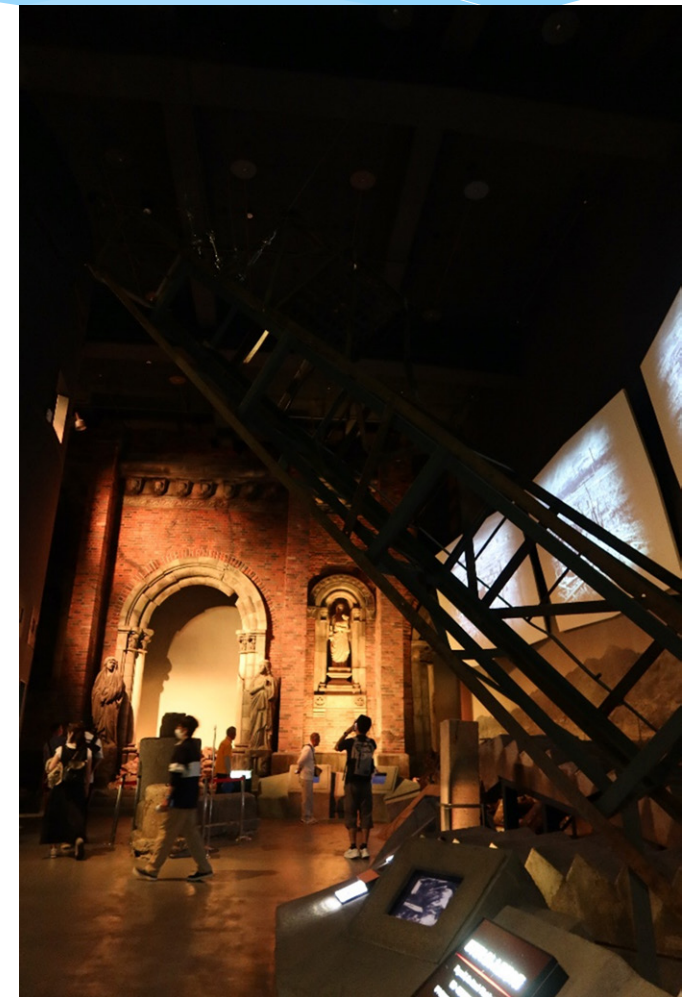
- \* 原爆が投下された時間で止まった時計
- \* 熱風により外装が歪んでおり、秒針は当時の時間で止まったままであり、爆心地から800メートルの位置にあった。



## 2. 原爆資料館の訪問と感想

# ①長崎原爆資料館 No.3

- \* 熱風により傾いた火の見櫓
- \* 熱風(約360m/秒)により根本から折り曲がっている
- \* 爆心地から250mの位置にあった



## 2. 原爆資料館の訪問と感想

# ①長崎原爆資料館 No.4

- \* 被爆した浦上天主堂の側壁
- \* 爆心地から500m先に位置していた
- \* 爆風によりほとんどが倒壊している



## 2. 原爆資料館の訪問と感想

# ②平和祈念像

- \* 平和記念公園に建てられており、被爆者の冥福と恒久平和を願う像である。
- \* 平和の泉が象の前にあり、円形の泉が設置されている。



## 2. 原爆資料館の訪問と感想

# ③原子爆弾落下中心地

- \* 原子爆弾が投下された場所であり、爆心地公園に原子爆弾落下中心地碑が建てられている。
- \* 園内には、壊された家の煉瓦や、溶けたガラスが埋没している。



# 今回の反戦活動を通じて

- 長崎の被害の凄まじさを感じるとともに、復興への尽力を感じることができた。
- 一人一人が平和を考え戦争を起こさないことの大切さを学べた

## 将来のために

近年のロシア・ウクライナ問題でも感じられるように、戦争を無くすことは難しいが、戦争を起こさないようにする努力や活動を行なっていくべきだと感じた。